

普及活動情勢報告（令和４年４月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

香美地区ニラ部会グリーンカレッジ研修会の開催！ ～農業技術センターの試験ハウスを視察しました～



試験ハウス視察の様子

３月１８日、グリーンカレッジの農業技術センター視察研修が開催され、生産者６名が参加しました。グリーンカレッジは、ニラ部会の若手の生産者が中心となって活動している組織です。

今回は、ニラ試験ハウスの視察（ＩｏＰ研究・抽だい・日射比例かん水方法等）とネギアザミウマによって媒介されるニラえそ条斑病の勉強会を併せて行いました。

生産者からは、試験ハウスの温度管理やかん水管理等について質問があがりました。また、勉強会では熱心に聞き入る様子が見え、ネギアザミウマが引き起こす病害について理解を深めました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、若手生産者への支援を行います。

集落営農に向けた第一歩！～香美市土佐山田町宮ノ口～



意見交換会の様子

４月６日、逆川公民館において、集落営農に関心のある香美市土佐山田町宮ノ口地区の代表者ら３名と逆川広域集落営農組合の役員５名で意見交換会を開催しました。

宮ノ口代表者からは、集落営農組織となった経緯や、組合を作ったよかったことなどについて質問があがりました。逆川広域集落からは「役員がしっかりした考えを持っていれば組織は作れる」、「アンケートをとるなどしてみんなの意見を吸い上げることが大事」と様々な助言がありました。

役員による検討は始まったばかりです。農業改良普及課は、今後も市役所と連携し、宮ノ口地区での集落座談会開催に向けた意識醸成を図っていきます。

J A 香美地区オクラ部会露地オクラ現地検討会を開催！



ほ場での意見交換の様子

４月５日～７日に J A 香美地区オクラ部会現地検討会が開催され、部会員計２９名が参加しました。

J A からは栽培管理（追肥やかん水管理等）について、農業改良普及課からは、気象概況及びトンネル換気、病虫害対策について情報提供を行いました。

部会員からは「気温が高いので早めに換気をしている」「天気をみながら換気穴を広げていく」などの声があがり、積極的な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、個別巡回や現地検討会を通じて収量向上に向けた支援を行っていきます。

今年の収量・収穫時期は？
～ J A 高知県香美地区温室柚子部会 収量予測調査～



今年の販売戦略について
協議中

香美地区温室柚子部会の収量予測のための現地検討会が3月21日に行われました。総勢12名のハウスを全員で回って、開花・結実状況から収穫時期と収量を推計しました。

今年は4月上旬から収穫が始まり、6～7月が出荷のピークとなる予測が立てられました。会の中で農業改良普及課は今後のかん水管理などの栽培に関する指導を行いました。

温室柚子部会はコロナ禍の影響により、温室ユズの単価が低迷しているだけでなく、重油の価格が高かったため苦境に立たされており、今回の会では販売戦略も検討されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、温室柚子部会への支援を行います。

ミカンハダニ対策を進めよう ～温室みかん部会現地研修会～



ミカンハダニ対策を
話し合う部会員

4月12、14、15、18日に、J A 香美地区果樹部温室みかん部会は4地区で現地研修会を開催し、部会員計25名が参加しました。

農業改良普及課からは、昨年はこの時期に果実への薬害発生事例があったため、乾きやすい条件の日を選んで薬剤を散布するよう呼びかけました。また、ミカンハダニに対する天敵の利用状況についても確認し、ミカンハダニの発生状況を把握して早めのレスキュー薬剤散布を指導しました。農家からは「ミカンハダニにはどんどん薬が効かんやりゅう。次作では天敵利用を検討している。」との声も聞かれました。

今後も、高品質安定生産を目的にミカンハダニ対策を進められるよう、関係機関と協力して支援していきます。

冬季の責任産地として責任を果たそう！！
～トルコギキョウ作付品種検討会～



「この品種はマストですわ」

3月24日、J A 香美地区花卉部野市支部トルコギキョウ部会がJ A 野市支所で来期に向けた作付品種検討会を開催しました。

農業改良普及課からは、品種特性の説明や出荷期間延長の提案をしました。

部会員からは、「この品種はつくりやすいか?」、「じゃ～、来期はこの品種を植えてみよう」といった声が聞かれ、品種選定への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も引き続き、トルコギキョウの生産安定を図り、産地の維持拡大を推進していきます。